

GUNZE

グンゼかんたん 丸わかりガイド

<2023年度版>

グンゼ株式会社

(東証プライム：証券番号 3002)

I. グンゼ創業からのあゆみ

I -1. 企業概要

設立 : **1896年（明治29年）8月（創業127年）**

資本金 : **261億円**

会社数 : **関係会社57社（国内27社・海外30社）**

従業員数 : **1,553名（単体） 5,214名（連結）**

売上高 : **1,360億円（2023年3月期連結）**

< 2023年3月31日現在 >

I-2. 経営理念

社名の由来

郡 (グン) ・ ・ 京都府何鹿郡
是 (ゼ) ・ ・ 正しい方針

いかるが

郡是
製絲株式会社

設立の目的

地域産業（蚕糸業）の振興

創業の精神

人間尊重

= 人を大切にする

優良品の生産

= 人々が求めるものをつくる

共存共栄

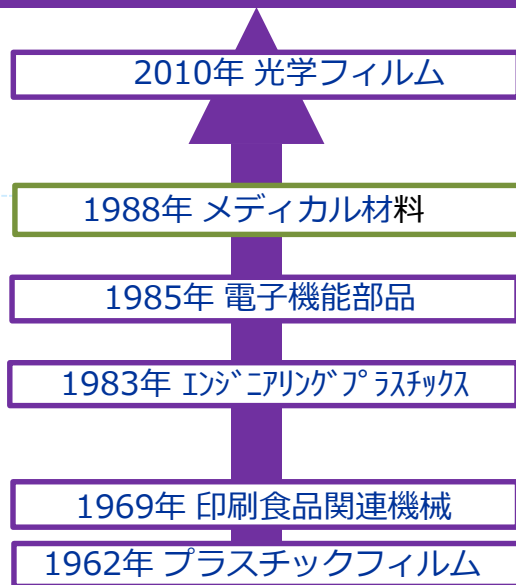
= 社会に貢献する



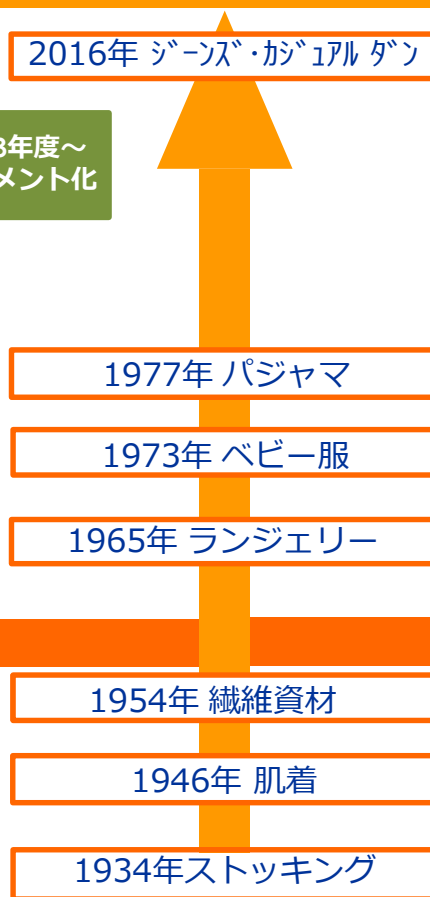
創業者：波多野鶴吉

I-3. 事業沿革

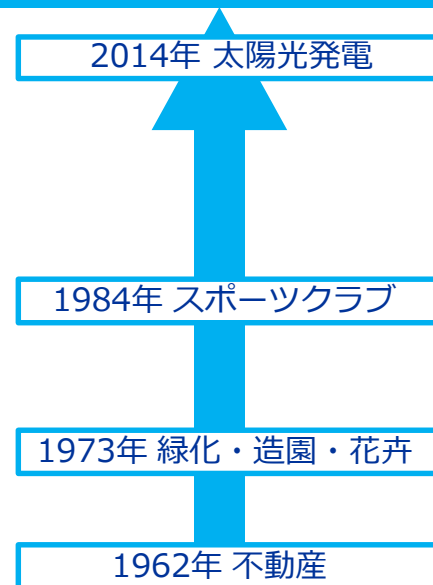
機能ソリューション



アパレル



ライフクリエイイト



非繊維事業
参入

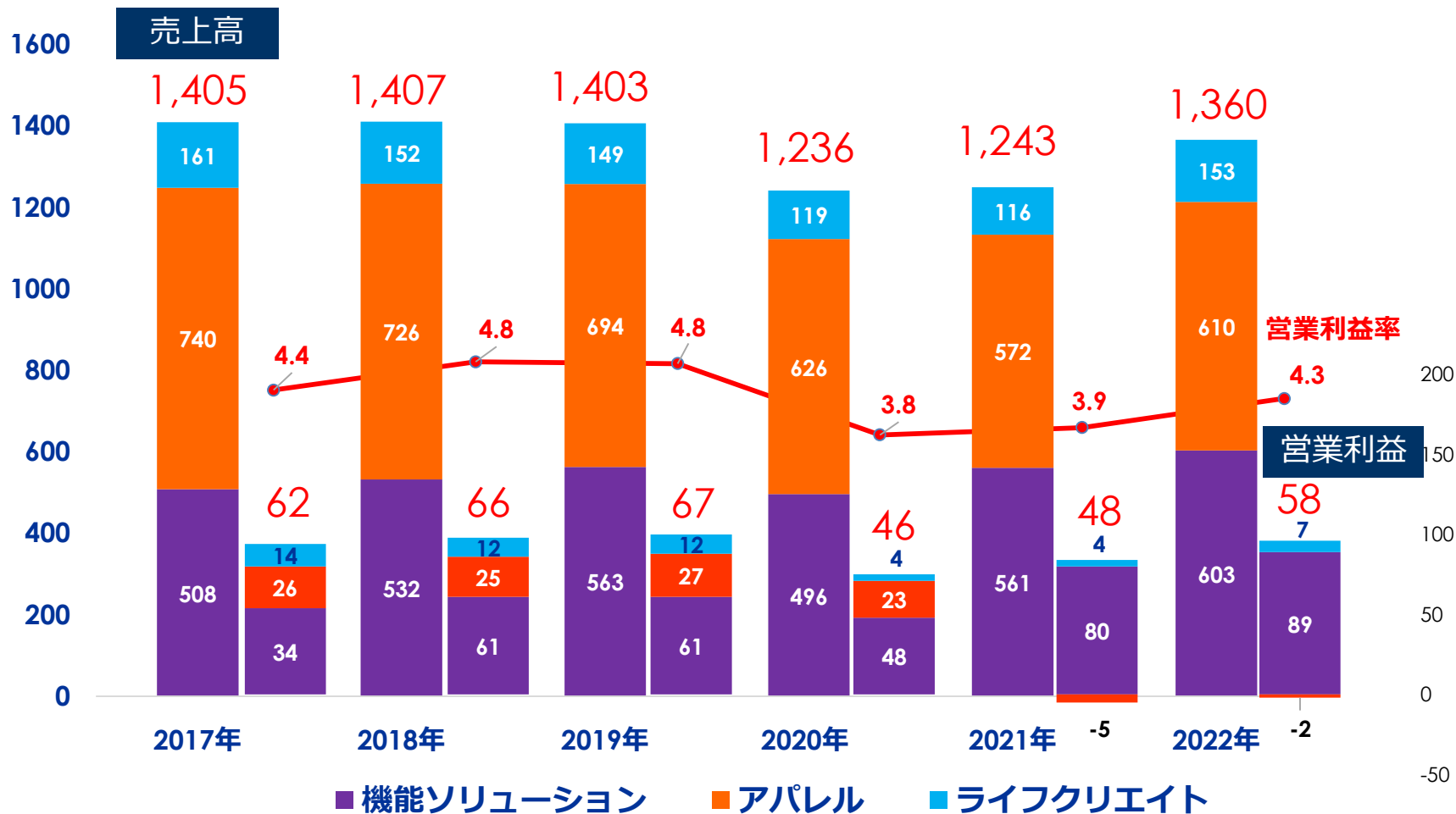
工場跡地
活用

生糸
川下化

1896年(明治29年) 創業 製糸業

I -4. 直近の連結業績推移

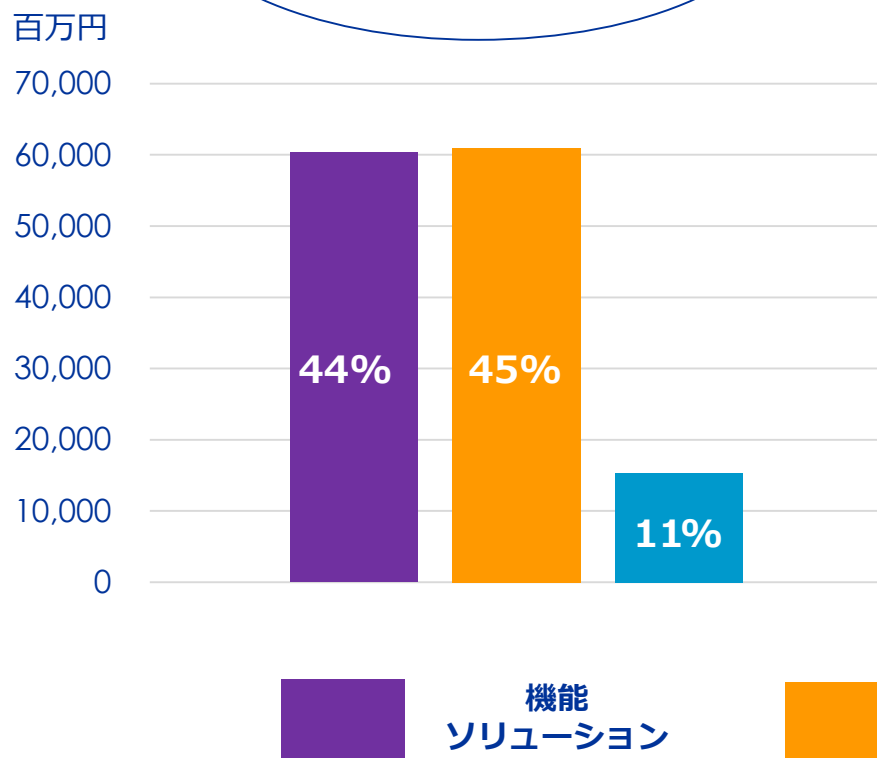
■ 売上高・営業利益率の推移（単位：億円，％）



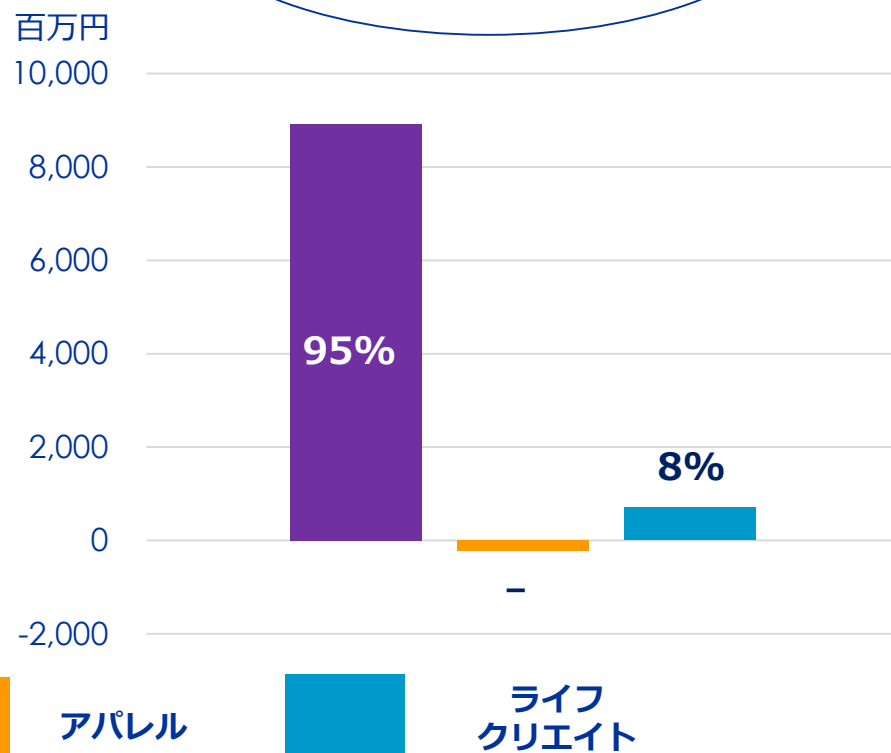
Ⅱ. 事業セグメント別の概況

Ⅱ-1. セグメント別構成比

売上高
136,030百万円

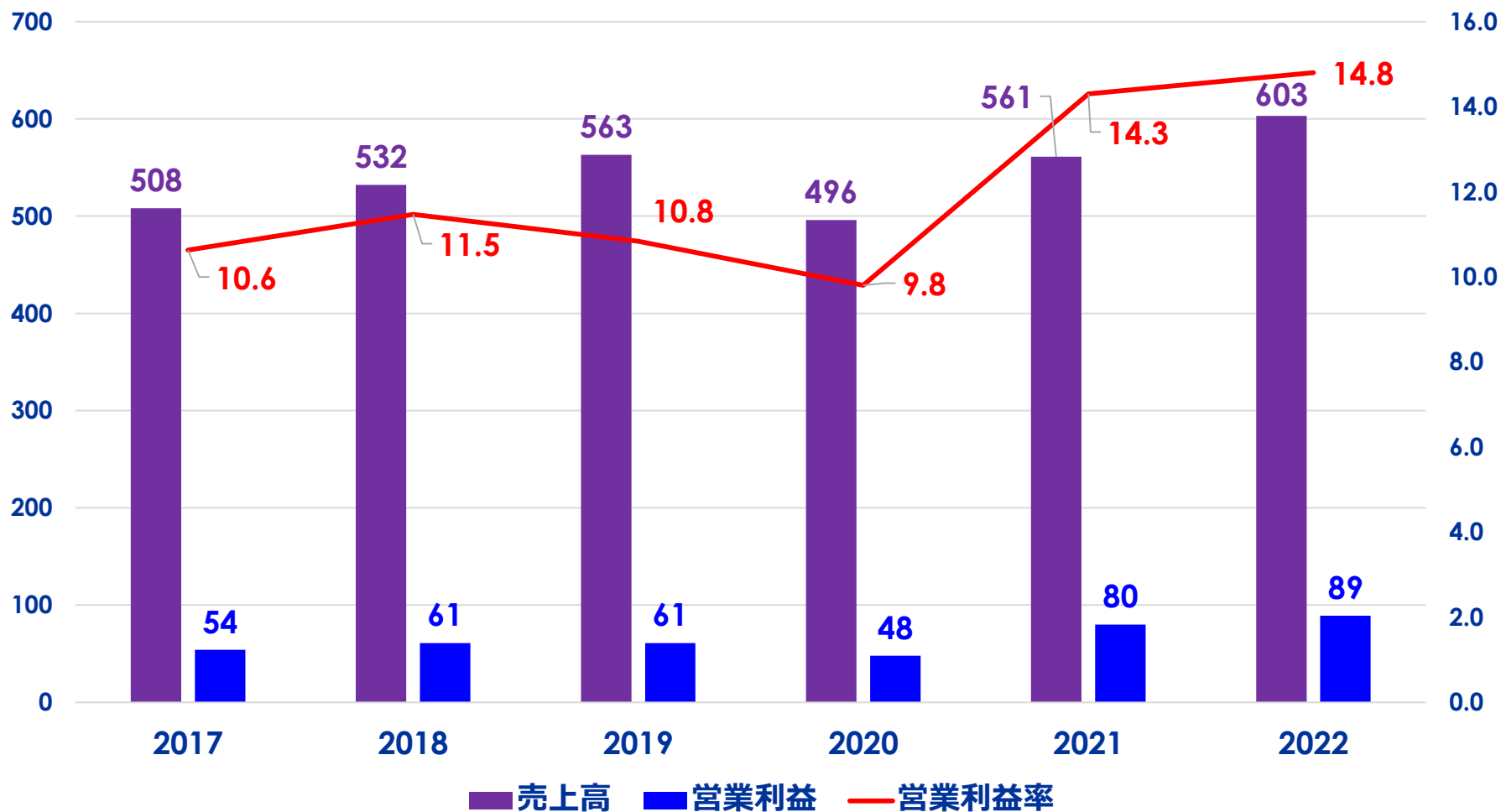


営業利益
5,812百万円



Ⅱ-2. 機能ソリューション事業の業績推移

■ 売上高・営業利益率の推移（単位：億円，％）



Ⅱ-3. 機能ソリューション事業の製品(1)

プラスチック

➤ 食品系包装用途に加えてトイレタリー向け等拡大



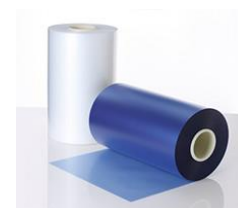
- 平板収縮フィルム
 - ✓ 飲料系
 - ✓ トイレタリー等



- 複合ナイロンフィルム
 - ✓ パウチ系
 - ✓ 耐冷凍・チルド用途



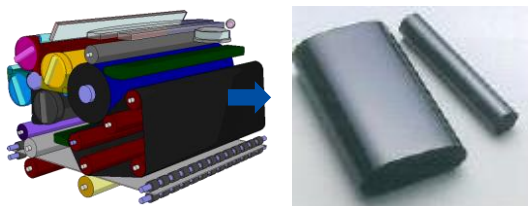
- OPPフィルム
 - ✓ カット野菜系
 - ✓ 防曇用途



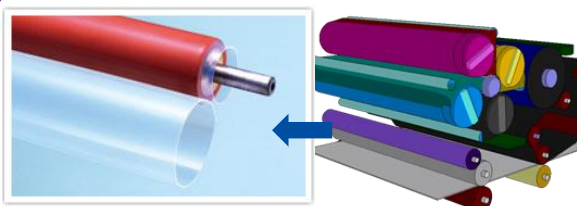
- 多層フィルム
 - ✓ 半導体製造用途
 - ✓ 壁紙用途 等

エンジニアリング プラスチック

➤ OA機器内の高機能部材用途に加え、半導体向け等非OA部門が伸長



- 高機能プラスチック
 - ✓ カラー機用中期転写ベルト
(シームレス)



- フッ素樹脂素材
 - ✓ インク定着ローラーカバー 等



- その他、フッ素製品
 - ✓ 半導体製造用フィルター
資材等

Ⅱ-4. 機能ソリューション事業の製品(2)

メディカル

➤ 生体吸収性医療機器が主力、新たに美容医療にも注力

●2023年度より事業セグメントとして独立



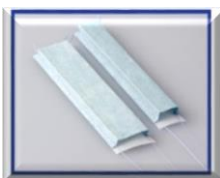
● PGA縫合糸



● 人工真皮

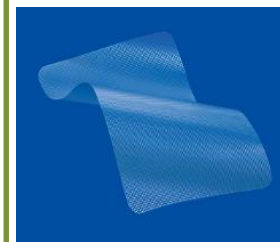


● 骨接合材



組織補強材を
組み合わせた
手術用自動縫合器

● 組織補強材



● 癒着防止材



● 医療用レーザー

電子部品

➤ タッチパネルが主力

● 透過型静電容量方式タッチパネル (PCAP)

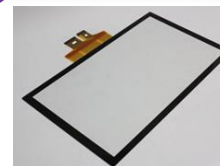
- ✓ ノートPC, PCモニター用途
- ✓ タブレットPC, スマートフォン等

- 完成品
- 半製品



● 抵抗膜方式タッチパネル

- ✓ 業務用PC, FA等



◆補足：機能ソリューションの主な海外拠点

プラスチック（カンザス州）



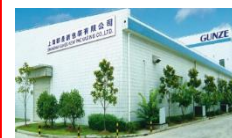
Gunze
Plastics&Engineering
Corporation of America
(1992)

プラスチック（ベトナム）



Gunze
Plastics&Engineering
of Vietnam Co.,Ltd.
(2018)

プラスチック（中国・上海）



上海郡是新包装
有限公司 (1997)



上海郡是新塑材
有限公司 (2002)

電子部品

Gunze Electronics
U.S.A.Corp.
(テキサス州, 1988)

電子部品（中国・東莞）



東莞冠智電子有限公司
(2002)

メディカル

郡是医療器材（深圳）有限公司
(2011)

エンプラ

郡是工程塑材（香港）有限公司
(2005)

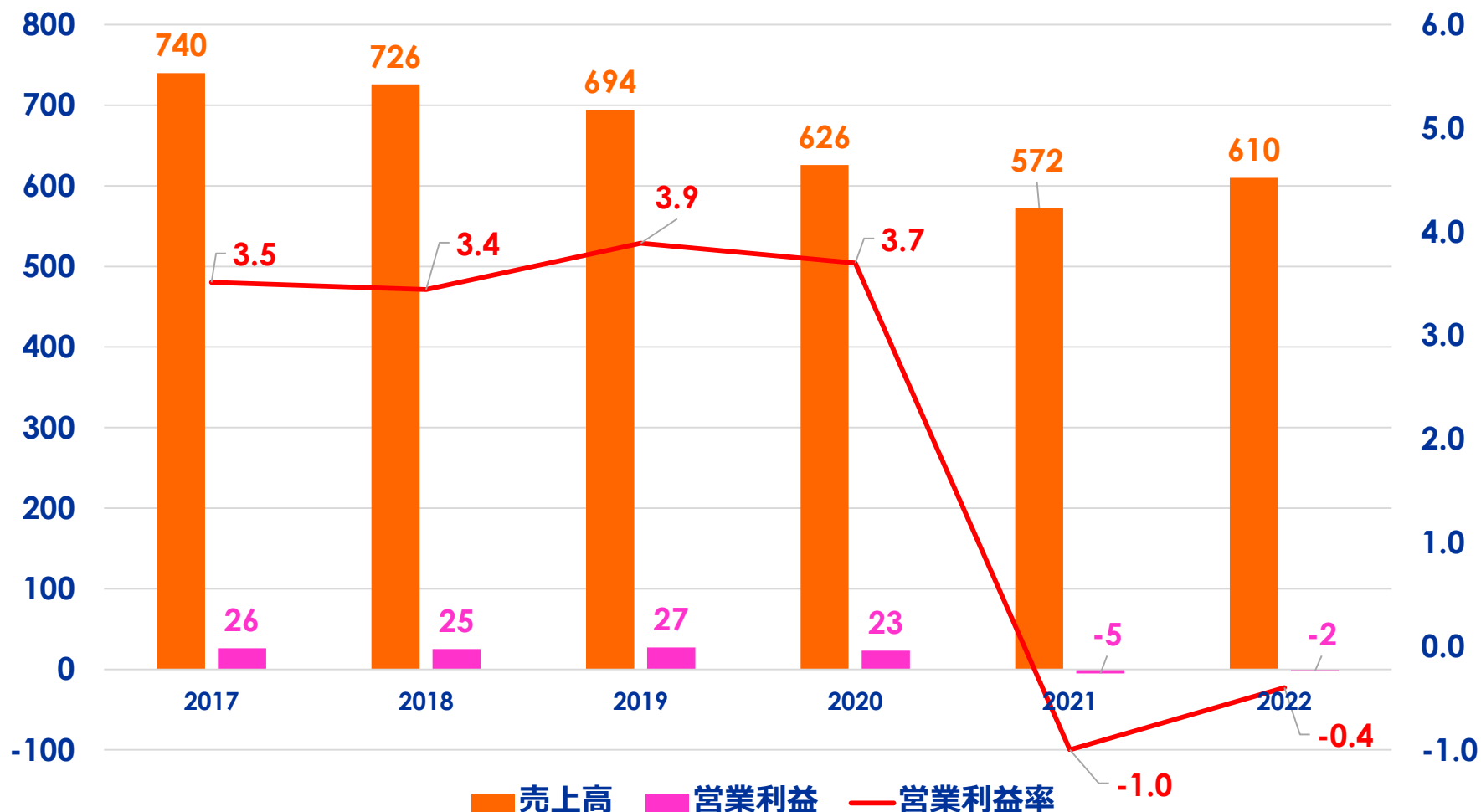
電子部品（台湾）



台湾郡是股份有限公司
(2010)

Ⅱ-5. アパレル事業の業績推移

■ 売上高・営業利益率の推移（単位：億円，％）



Ⅱ-6. アパレル事業の製品

インナーウェア

YG
Cotton Professional



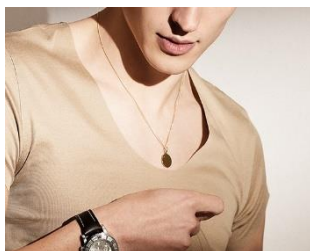
肌がよくこぼスキャンユア
KIREILABO
キレイラボ



BODY WILD

SEEK
MEN'S UNDERWEAR

Tuché



パジャマ、ハウスカジュアル



ジーンズ・カジュアル ダン



レッグウェア



ミシン糸・繊維資材



◆補足：アパレル事業の主な海外拠点

繊維資材（バングラデシュ）



Gunze United Limited

繊維資材（ベトナム）



Gunze Hanoi Co.,Ltd.

インナー（ベトナム）



Gunze(Vietnam) Co.,Ltd.

インナー（タイ）



Thai Gunze Co.,Ltd.

インナー（北京）



北京愛慕都是服飾有限公司

インナー（大連）



大連坤姿時裝有限公司

繊維資材

常熟郡是輔料有限公司
太倉郡是新材料有限公司

インナー／ストッキング

山東冠世針織有限公司

山東冠世時裝加工有限公司

濟南冠世時裝有限公司

上海

インナー／ストッキング ／ 繊維資材

郡是（上海）商貿有限公司

郡是（上海）國際貿易有限公司

上海郡是通虹纖維有限公司

インドネシア

繊維資材



P.T. Gunze Indonesia

ソックス

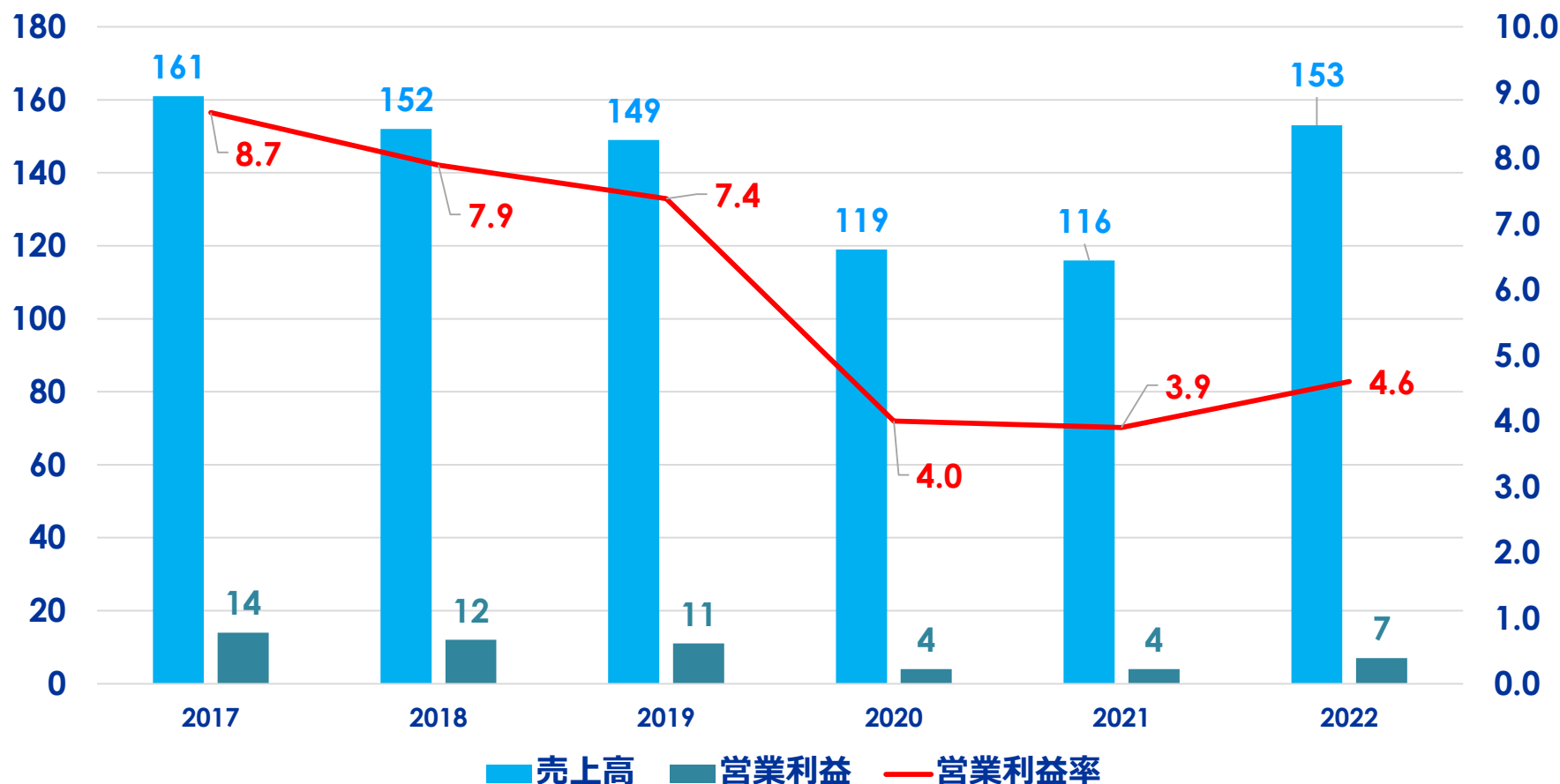


P.T. Gunze Socks Indonesia



Ⅱ-7. ライフクリエイトの業績推移

■ 売上高・営業利益率の推移（単位：億円，％）



Ⅱ-8. ライフクリエイイトの事業概要(1)

スポーツクラブ

➤ フィットネスクラブ運営 , 21店舗 , 総会員数 : 4万人

GUNZE
SPORTS



スイミングスクール



グンゼスポーツ吹田健都店

商業施設運営

➤ 商業施設運営, 不動産賃貸, 温浴施設運営



つかしん（兵庫県尼崎市）



Ⅱ-9. ライフクリエイトの事業概要(2)

エンジニアリング

➤ 省エネ、省資材、PM診断のエンジニアリングサービス



省エネ支援事業



太陽光発電；福島県本宮市

- 太陽光発電事業
- 全国3ヶ所
(2013年～)

緑化分野

➤ 樹木・花卉園芸品の企画・販売



- 都市緑化



- 花卉園芸品の販売

胡蝶蘭

Ⅲ. 直近の業績関連

Ⅲ-1. 2023年3月期累計 業績

連結業績

(単位：百万円，%)

	2023年3月期 (下段：利益率)	2022年3月期 (下段:利益率)	対前期		通期予想	達成率 (%)
			増減額	増減率(%)		
売上高	136,030	124,314	11,715	9.4	136,000	100.0
営業利益	5,812 4.3%	4,880 3.9%	932	19.1	6,000	96.9
経常利益	6,021 4.4%	5,399 4.3%	621	11.5	6,000	100.4
親会社株主に 帰属する当期純利益	4,501 3.3%	2,939 2.4%	1,561	53.1	3,700	121.6

	2023年3月期	2022年3月期	増減額
総資産	165,927	158,216	7,710
自己資本	115,757	112,903	2,854
自己資本比率	69.8%	71.4%	△1.6%
有利子負債	15,426	11,029	4,397
BPS：1株当たり 純資産(円)	6,789.78	6,535.42	254.36

Ⅲ-2. 通期決算サマリー

(2022年4月1日～2023年3月31日)

中期経営計画「VISION2030 stage1」の初年度にあたり、全セグメントで増収増益一方で、急激な為替変動や原燃料価格の高騰等、外部要因の影響を受け営業利益は通期予想に未達も、他の指標は上回った

- ・ 新たな取り組み：サーキュラーファクトリープロジェクト（プラスチックフィルム）
新規用途開発（エンジニアリングプラスチック）、医療領域拡大（メディカル）
- ・ 事業構造改革：フィルム部門の譲渡（電子部品）、中国工場での生産終了（レグウエア）

事業セグメント業績の主なポイント

機能
ソリューション

- 原燃料価格高騰の影響を受けるも、全体としては堅調に推移し増収増益
- ◆ プラスチックフィルムは、包装用フィルムが堅調に推移も、ユーティリティ価格高騰の影響を受ける
- ◆ エンジニアリングプラスチックは、半導体市場向け製品が堅調に推移
- ◆ 電子部品は、タッチパネル事業が市況悪化の影響を受ける
- ◆ メディカルは、新製品の市場展開もあり堅調に推移

アパレル

- 販売回復が進む中で、為替変動や原燃料価格高騰の影響を受け赤字となったが増収
アパレル事業全体では、社会経済活動の正常化に伴う市況回復や、EC、SPAルートが堅調に推移したため売上は拡大も、原燃料価格高騰と為替変動によって利益が圧迫されており、価格改定を進める
- ◆ インナーウェアは、成型ボクサーパンツや、差異化ファンデーション群が好調に推移
- ◆ レグウエアは、市況回復により増収も、収益性の改善に向け生産構造の見直しを行う

ライフ
クリエイト

- 遊休地の再開発により順調に推移し、増収増益
- ◆ 行動制限の解除により、ショッピングセンター事業とスポーツクラブ分野は、ともに回復傾向

Ⅲ-3. セグメント別業績

連結業績

(単位：百万円)

	売上高					営業利益（下段：利益率）				
	2023年 3月期		2022年 3月期		対前期 増減	2023年 3月期		2022年 3月期		対前期 増減
		ウェイト		ウェイト			ウェイト		ウェイト	
機能 ソリューション	60,340	44%	56,138	45%	7.5% 4,202	8,918 14.8%	95%	8,032 14.3%	101%	11.0% 885
アパレル	60,986	45%	57,197	46%	6.6% 3,788	-222 -0.4%	-	-557 -1.0%	-	- 334
ライフ クリエイト	15,327	11%	11,576	9%	32.4% 3,751	705 4.6%	8%	453 3.9%	6%	55.5% 251
合計	136,030	100%	124,314	100%	9.4% 11,715	5,812 4.3%	100%	4,880 3.9%	100%	19.1% 932

Ⅲ-4. セグメント別業績

(単位：百万円)

売上高 **136,030**百万円

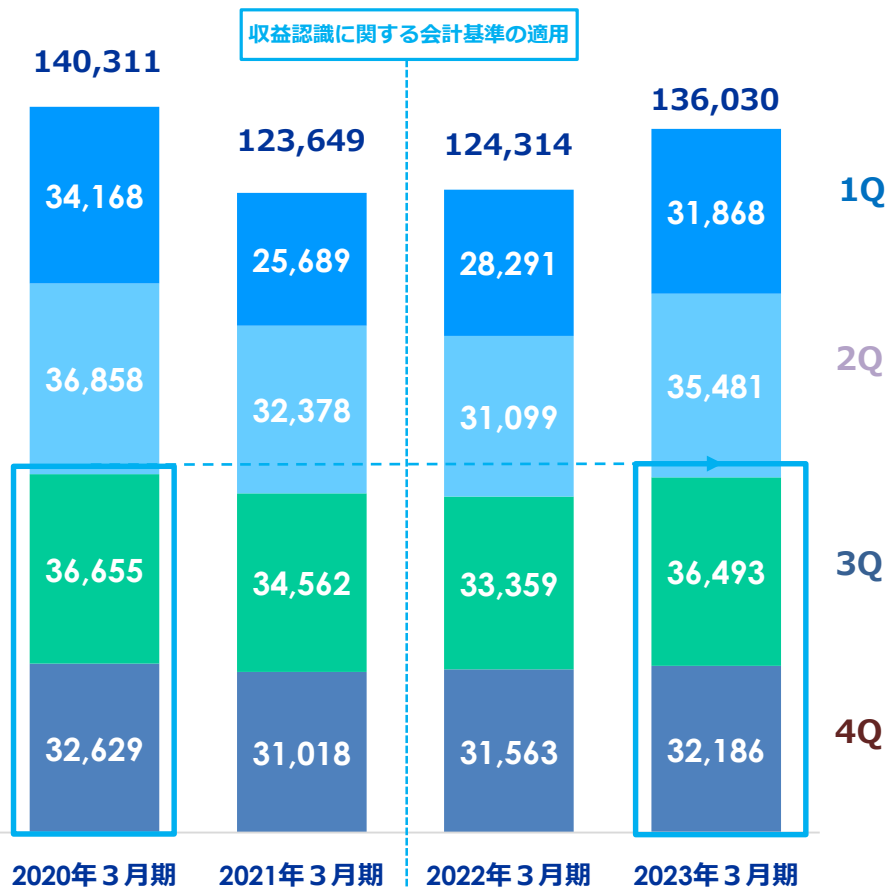
前年同期比+9.4%

<四半期別>

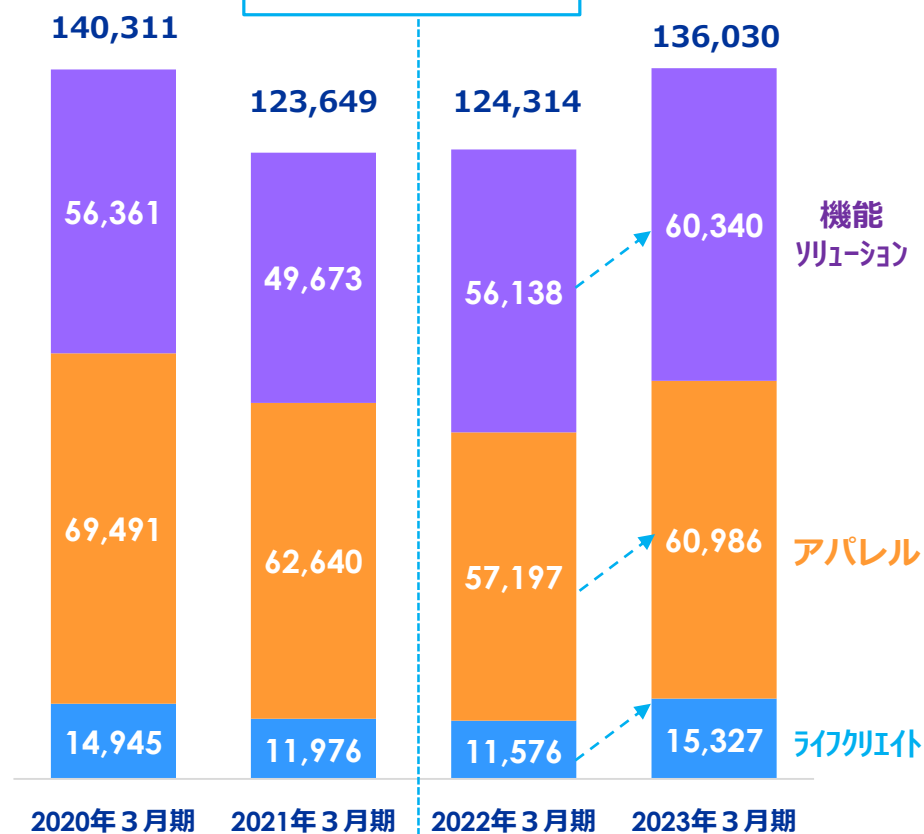
<事業セグメント別>

収益認識に関する会計基準の適用

収益認識に関する会計基準の適用



コロナ前(2020年3月期)の水準に戻る(特に下期)



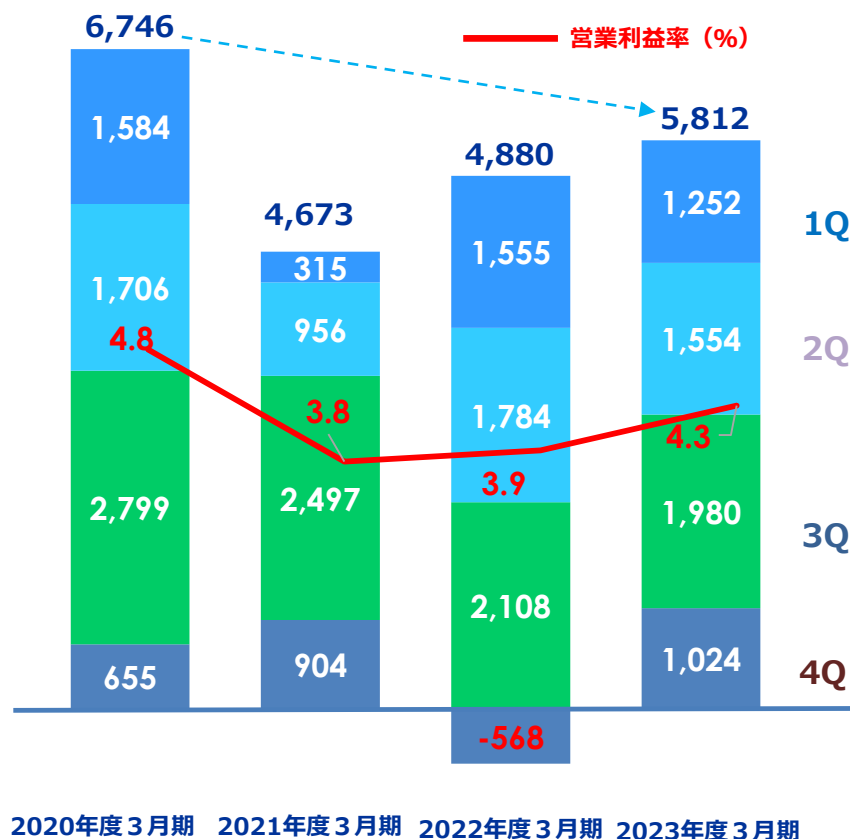
3事業とも、売上は順調に伸長

Ⅲ-5. セグメント別業績

(単位：百万円)

営業利益 **5,812**百万円
前年同期比+19.1%

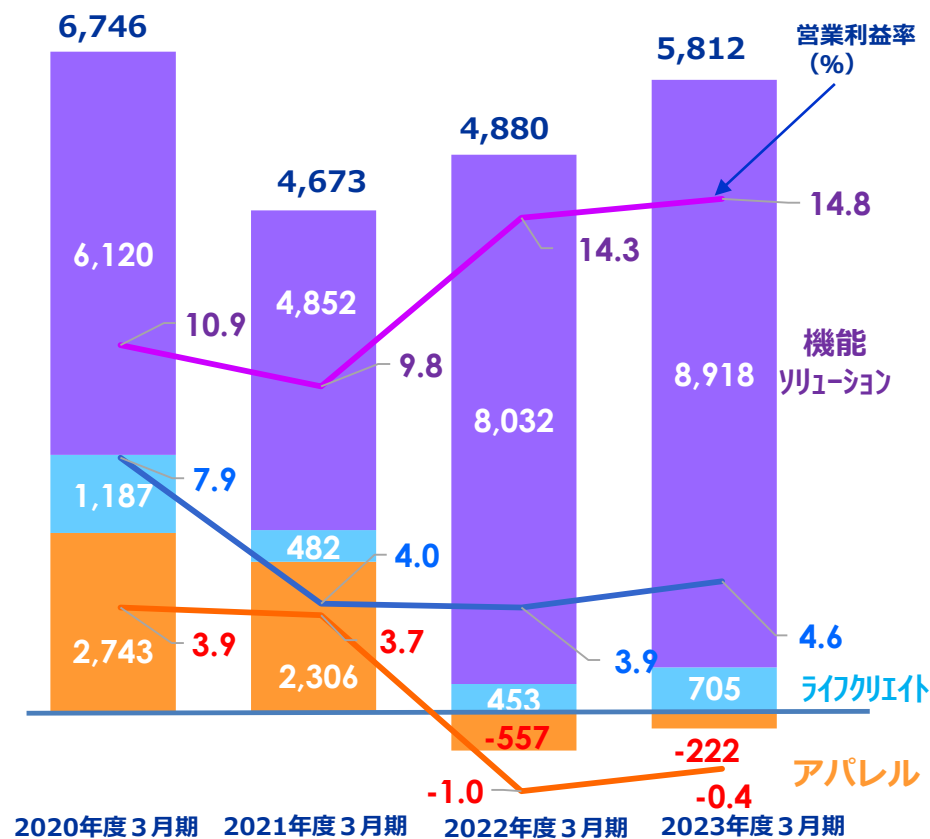
<四半期別>



2020年度3月期 2021年度3月期 2022年度3月期 2023年度3月期

為替、原燃料価格等外部要因等の影響を受け
コロナ前水準には届かないものの対前年増益

<事業セグメント別>



2020年度3月期 2021年度3月期 2022年度3月期 2023年度3月期

機能ソリューション事業が利益の大半を占める
(8,918百万円は史上最高益)

Ⅲ-6. 特別損益

(単位：百万円)

	2023年 3月期 3月末実績	2022年 3月期 3月末実績	増減
固定資産売却益	1,013	5,447	△4,433
投資有価証券売却損益	591	727	△136
減損損失	0	-3,513	3,513
固定資産除売却損	-746	-805	58
構造改善費用	-325	-563	238
新型コロナウイルス感染症による損失	-116	-410	294
その他	-50	-716	666
特別損益合計	368	167	201

Ⅲ-7. キャッシュフロー

(単位：百万円)

	2023年 3月期	2022年 3月期	増減
営業活動	1,794	9,155	△7,360
投資活動	△5,920	6,806	△12,726
FCF	△4,196	15,961	△20,086
財務活動	1,007	△12,358	13,365
現金及び 現金同等物 期末残高	11,547	14,469	△2,922

■ 主な営業CF

税金等調整前当期純利益	6,389
減価償却費	5,760
棚卸資産の増加	△4,228
法人税等の支払	△2,877
その他流動資産の増加	△1,779

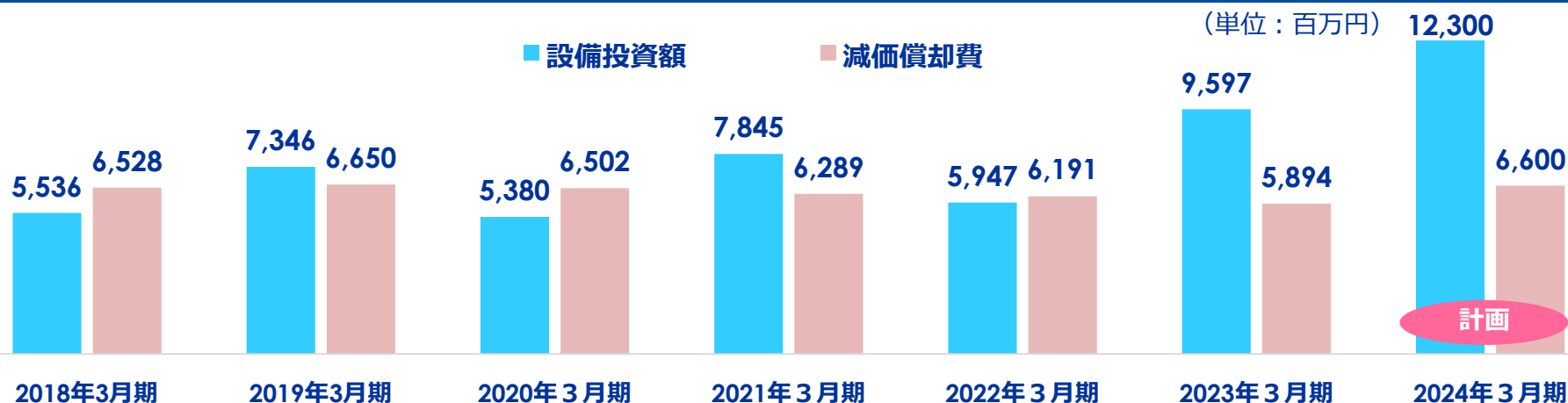
■ 主な投資CF

投資有価証券の売却	4,422
固定資産の売却	1,370
固定資産の取得	△10,226
投資有価証券の取得	△2,060

■ 主な財務CF

長期借入による収入	6,600
長期借入金の返済	△2,455
配当金支払	△2,409
自己株式の取得	△1,004

Ⅲ- 8 . 設備投資額・減価償却費推移



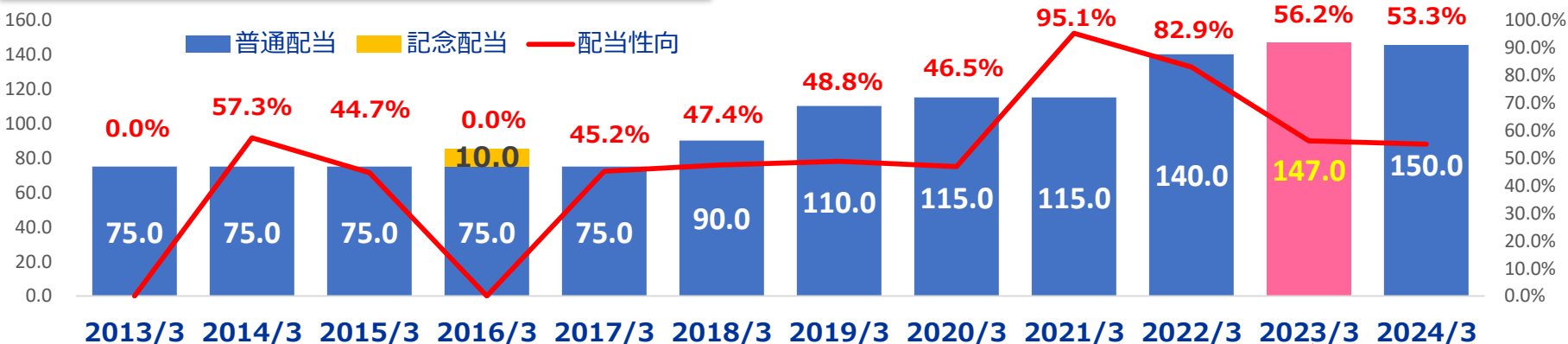
	設備投資					減価償却				
	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期 計画		当期増減	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期 計画		当期増減
			前期増減	当期増減				前期増減	当期増減	
機能ソリューション	1,330	4,816	3,486	5,500	684	2,341	2,423	82	2,700	277
メディカル(新)	391	553	162	800	247	312	371	59	500	129
アパレル	2,244	1,493	△751	2,800	1,307	1,367	1,250	△117	1,400	150
ライフクリエイト	867	2,053	1,186	2,400	347	1,698	1,370	△328	1,500	130
その他	1,114	680	△434	800	120	472	478	6	500	22
合計	5,947	9,597	3,650	12,300	2,703	6,191	5,894	△297	6,600	706

2023年3月期の主な投資実績	2024年3月期の主な投資計画
プラスチックフィルム工場建屋	プラスチックフィルム資源循環型工場・生産設備 3,000
エンジニアリングプラスチックス事務所棟	インナーウエア生産設備等 1,200
商業施設の改装	商業施設リニューアル改装 1,200

Ⅲ- 9 . 株主還元

1 株配当金と配当性向の推移

(単位：円)

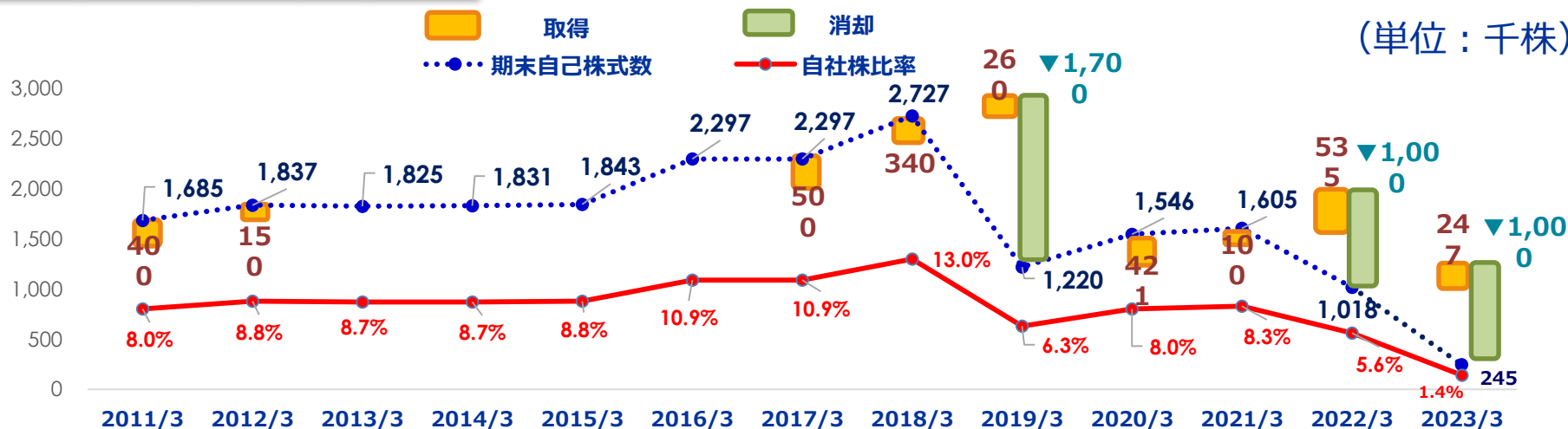


自社株の状況

配当予想145円を上回る

* 2017年10月1日からの株式併合(10株を1株) に合わせて、2017年3月末以前の株数を換算しております

(単位：千株)



中期経営計画「VISION 2030 Stage 1」では、
総還元性向100%(ROEが株主資本コストを上回るまで)
株主資本配当率 DOE 2.2%以上を目途に利益還元を行う方針

IV. 今後の見通し

IV-1. 事業セグメント区分の見直しについて

決算短信より

当社メディカル事業グループは、2023年4月1日付け
メディカル事業部およびグンゼメディカル株式会社等の組織再編に
より、医療を専業とする新しい組織体制のもと、
生体吸収性製品を中心とした革新的な医療機器の提供を通じ、
患者さまの更なるQOL向上を目指しています



この組織再編も踏まえ、現在推進中の中期経営計画
「VISION 2030 stage1」における成長牽引の位置づけをより
明確にするため、当連結会計年度において「機能ソリューション」
セグメントに含まれていたメディカル事業を翌連結会計年度において
「メディカル」セグメントとして新たに区分します

IV-2. 2024年3月期 見通し

◆ 2023年度戦略課題

機能ソリューション事業

- ・ プラスチックフィルムは、環境対応型新商品の積極的な投入とともに、サーキュラーファクトリー(資源循環型工場)の本格稼働とサーキュラーメーカーへ変革するための基礎となるリサイクルセンター設置を進める
また、デジタル技術の横展開により生産革新を進める一方、米国・中国・アセアン等海外拡販を強化
- ・ エンジニアリングプラスチックは、主力のOA市場向け製品のシェア拡大に加え、設備投資を含め健康・医療関連ならびに産業機器向け製品の拡販を図る

メディカル事業

- ・ 事業基盤強化を目的とした組織再編を通じて、組織補強材や人工皮膚等の増産体制を整えるとともに、米国・中国の販売強化・継続的な新商品開発により、事業拡大を加速

アパレル事業

- ・ 総合力による競争力向上を目的とした組織再編を通じて、消費行動変化に伴い伸長しているECチャネルや直営店舗のDtoCルートでの更なる拡販と他社とのコラボレーションを積極的に推進するとともに、経営リソース集中と新規顧客獲得によるライフスタイル分野への拡大、差異化新商品を通じたレディスインナーの拡販を図る
- ・ 生産面ではオートメーション化とグローバル最適生産体制の構築によりコスト競争力の強化を図るとともに国内主力工場にて再生可能エネルギーを使ったCO2排出量の実質ゼロ化と無人化ラインからなるネットゼロファクトリー計画を段階的に推進

ライフクリエイティブ事業

- ・ 商業施設の収益力向上の推進や投資効率を重視した物件別管理を強化
- ・ スポーツクラブは、スクール事業拡大と地域・店舗特性に合わせた特長のあるサービス提供や新業態の開発に取り組む

IV-3. 2024年3月期連結業績予想

業績予想

(単位：百万円)

項 目	2024年 3月期		2023年 3月期		対前年	
	業績予想	利益率	実績	利益率	増減	増減率
売上高	140,000		136,030		3,970	2.9%
営業利益	7,500	5.4%	5,812	4.3%	1,688	29.0%
経常利益	7,500	5.4%	6,021	4.4%	1,479	24.6%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	4,800	3.4%	4,501	3.3%	299	6.6%

IV-4. セグメント別業績予想

セグメント別対前期比較

(単位：百万円)

	売 上 高			営業利益（下段：利益率）		
	2024年 3月期 (2023年度)	2023年 3月期 (2022年度)	増減	2024年 3月期 (2023年度)	2023年 3月期 (2022年度)	増減
機能 ソリューション	51,800	49,555	4.5% 2,245	7,100 13.7%	6,835 13.8%	3.9% 265
メディカル(新)	12,000	10,957	9.5% 1,043	2,300 19.2%	2,082 19.0%	10.5% 218
アパレル	63,300	60,986	3.8% 2,314	1,400 2.2%	-222 -0.4%	- 1,622
ライフ クリエイト	13,800	15,327	△10.0% △1,527	800 5.8%	705 4.6%	13.5% 95
合計	140,000	136,030	2.9% 3,970	7,500 5.4%	5,812 4.3%	29.0% 1,688

V. 中期経営計画 「VISION2030 stage1」 進捗状況

V-1. 中期経営計画「VISION 2030 stage1」

(2022/5/13発表)

対象期間 2023年3月期～2025年3月期 (3カ年計画)

ビジョン 新しい価値を創造し「こころよさ」を提供することで
持続可能な社会の実現に貢献します

**「経済的価値」と「社会的価値」を両立するサステナブル経営により
社会貢献とグループの持続的成長を実現**

基本戦略 (マテリアリティ)	新たな価値の創出	・新規事業の創出と既存事業の成長（M & A含む） ・サステナビリティを追求した新商品、新サービスの提供
	企業体質の進化	・多様な人財が働きがいを持てる組織風土づくり ・働き方改革による意識・業務改革 ・デジタルの積極活用によるプロセス変革
	環境に配慮した経営	・事業活動における環境負荷の低減
	資本コスト重視の経営	・経営資源の戦略的配分 ・資本効率の追求によるGVA黒字化

V-2. 新中期経営計画「VISION 2030 stage1」

• 経営目標（非財務目標）

区分	目標指標		2024目標	2030目標
環境対応	CO2排出量 削減率（2013年度対比、Scope1+2）		28%以上	35%以上
	エネルギー原単位 削減率（対前年）		1%/年以上	
企業体質 の進化	女性活躍推進	女性管理職比率	6%以上	20%以上
		女性社員比率	35%	41%
		女性総合職採用比率	50%	50%
	子育て支援	男性育児休職取得率	50%	70%
	組織風土づくり	エンゲージメントスコア	70点想定	80点想定
	働き方改革	年休取得率	75%	100%
その他	生産性向上率（P値※） ※ 当社オリジナルの生産性対前年向上指標		103%	103%

V-3. 中期経営計画の進捗状況

<収益指標>

(単位：百万円)

	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3
	(実績)	(実績)	(業績予想)	(中計目標)
売上高	124,314	136,030	140,000	140,000
営業利益	4,880	5,812	7,500	10,000
営業利益率	3.9%	4.3%	5.4%	7.1%

<グループ経営指標>

ROE 6.3%以上 自己資本当期純利益率 <株主資本に対するリターン>	2021/3 実績 1.9%	2022/3 実績 2.6%	2023/3 実績 3.9%	2024/3 業績予想 4.2%	2025/3 目標 6.3%以上
GVA 全社計黒字化 「Gunze Value Added」 (税引後営業利益+配当金)-投下資本×WACC	2021/3 実績 △31億円	2022/3 実績 △26億円	2023/3 実績 △23億円	2024/3 業績予想 △11億円	2025/3 目標 全社計黒字化
株主還元 総還元性向100% 配当性向 DOE <株主資本配当率> 2.2%以上	2023年3月期 1株配当 147円 自己株式取得 1,004百万円 配当性向 56.2%(DOE 2.2%) 総還元性向 100%			2024年3月期(予想) 1株配当 150円 配当性向 53.3% (DOE2.2%以上) 総還元性向 100%	

GUNZE

本資料のうち、業績見通し等に記載されている内容は、
現在入手可能な情報による判断に基づいたものであり、
記載された将来の計画数値、施策を保証するものではありません